



資料1

今までの振り返り

- 平成27年7月23日に第1回目の協議会を開催して以後、毎年1～2回の開催ペース。
- 構成メンバーは学識経験者、労働団体、経済団体、消費者団体（令和3年より）、荷主、トラック運送事業者団体、トラック運送事業者、行政機関等。
- トラック運送事業者、荷主、行政等の関係者が一体となり、トラック運送業における取引環境の改善及び長時間労働の抑制を実現するための具体的な環境整備を図る。

～今までの取組の抜粋（実証事業のみ）～

年度	概要
平成28年度	店直（一般小売店舗向け納品）ルート配送上の課題について【パイロット事業】
平成29年度	小売業の店舗納品にカゴ車を利用する際の課題（重量があるのに傾斜を通過して運搬など）について【パイロット事業】
平成30年度	段ボール配送における課題（手積み・附帯作業・待機時間）について【コンサルティング事業】
令和元年度	輸送品目ごとに荷待ち、荷受け時間の短縮につながる実証実験を実施。【アドバンス事業】
令和2年度	具体的なトラック予約受付システム（N-Torus）導入による拘束時間短縮効果及び輸送の効率化の検証などを実施。
令和3年度	メーカー発荷主から、着荷主の物流センターへ納品するにあたり、年末に集中することから発生する長時間の待機等解消に向けた取組を実施。